

えひめの子どもたちへ メッセージ
～いじめの起こりにくい学校づくりを、自分たちの力で～

「えひめ愛顔の子ども新聞」掲載記事

2年に及ぶコロナ禍では、制限や我慢の多い生活が続いています。ただ、いつもと違うからこそできたことや、感じることでできた優しさもあったことと思います。つい当たり前に感じてしまう友達との関わりについて、見つめ直した人もいないのでしょうか。

愛媛県では、平成25年度から小中学生による子ども会議を開催し、その後、高校生や保護者、地域の方々と一緒にいじめ問題の解決に向けた取組みを続けてきました。これまでに参加した多くの皆さんが、学校や地域で行動し、いじめをなくすリーダーとして成長していることは心強い限りです。

今年度は、もっと多くの児童生徒の皆さんの参加を可能にし、「オールえひめ」によるいじめの未然防止をさらに推進することを目指して、県内すべての小中学校をオンラインでつないだ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP！デイ」を実現することができました。

ライブ授業では、「いじめを止めたら自分がいじめられるんじゃないか」「親に心配をかけたくない」「おおごとにしてほしくない」など、皆さんの複雑な思いと同時に、「自分たちで解決したい」「自分の言葉に責任をもちたい」「人を大切にしたい」など解決に向かう力強い言葉が聞かれました。県内各地の約24,000人の児童生徒の皆さんが、いじめを防ぐために真剣に考え、議論し、主体的に行動しようとしている姿を拝見し、皆さんのもつ力と可能性に強く心を動かされました。

いじめを一番近くでみている皆さんが、「いじめをなくす」という思いを共有して、強くつながってほしい。そして、かけがえのない仲間を守るために自ら立ち上がり、いじめの起こりにくい学校づくりに取り組んでいってくれると信じています。

保護者や地域の皆様、子どもたちは、いじめをなくそうと懸命にがんばっています。私たち大人にできることは、自他を尊重する生き方を通して、子どもたちに良き手本を示すことではないでしょうか。これからも、子どもたちの見守りと温かい支援をよろしく願いいたします。

最後に、「えひめいじめSTOP！デイ」の開催にあたり、ご理解とお力添えをいただいた全ての皆様に、心から感謝申し上げます。